

広報

おおの

ゆい結の故郷に 越前おおの



8月号

平成25年(2013年) NO.816



特集 越前おおの定住促進

このまち 私たちが、大野 に決めました

本市では、近年深刻化する人口減少や少子高齢化に歯止めをかけるため、市外からの移住を支援する定住促進事業に取り組んでいます。今回は、大野へのIターンやUターンを選んだ皆さんから見たまちの魅力や、市の支援施策を紹介します。



若林秀志さん(47歳・平沢)、朋美さん(43歳)
煌次郎くん(4歳)、煌之介くん(7歳)

目次

- P 2 特集 越前おおの定住促進
- P 8 第五次大野市総合計画平成 24 年度の実施状況
- P10 ゆうゆうキャンペーンなど
- P11 第 8 回大野市景観賞を募集 など
- P12 市総合防災訓練を実施します など
- P13 文化会館で映画を見よう第 2 弾 など
- P14 平成 24 年度市の財政状況
- P15 平成 26 年 4 月採用職員募集(後期日程)

花言葉は「憧れ」

夏の風物詩の一つといえばヒマワリ。スターランドさかだにでは一足早く7月中旬に、満開の花が見ごろを迎えました。阪谷地区で憧れの農村生活を送る、元「緑のふるさと協力隊」の渡辺佳奈さんと訪れました。

ご意見は「やまびこ」へ

市政へのご意見などは、「市民提案箱やまびこ」や「電子メールやまびこ」へお寄せください。

電子メールアドレス
yamabiko@city.fukui-ono.lg.jp

市ホームページ

<http://www.city.ono.fukui.jp/>

市ホームページ 携帯電話用サイト

<http://www.city.ono.fukui.jp/i/>



決意の1ターンで得た 自然に寄り添った生活

埼玉県出身の若林秀志さんは、東京都内でシステムエンジニアとして22年間働いていました。移住を具体的に考えだしたのは、平成20年ごろ。一人っ子の妻、朋美さんの福井市に住む両親のことが気になり始めたからです。都内で偶然見つけて参加した宿泊農業体験の「ふるさとワークステイ」などで、大野のことや上庄里芋の存在などを知りました。

ブランドに魅せられて

何度かの農業体験を通して、上庄地区の農業経営者の下で働くことを決意した秀志さんは、平成22年3月、家族全員で平沢区内の空き家に引っ越してきました。秀志さんは当時のことを、「私には農業の経験が全くなかったので、その苦労や大変さよりも楽しさが大きな魅力でした。県内に移住の候補地は幾つかありましたが、ここには上庄里芋というブランドのあった

ことが大きな決め手です」と振り返ります。

移住で人間らしい生活に

最初は農作業に必要な体力づくりから始めたという秀志さんも、今ではトラクターや田植え機などを扱うまでになりました。そんな姿を間近で見えてきた朋美さんは、「東京にいるときの主人は、朝7時には家を出て満員電車で1時間半かけて通勤し、帰りが深夜になることも多く、子どもと触れ合うこともできませんでした。こちらに来てからは、ずいぶん人間らしい生活になりました」と喜んでいいます。「水がいいので、お米や野菜がおいしく、キャベツなどは東京で食べていたものと同じがまるで違います。食生活する上でとても大切です。ね」とも話してくれました。

子育ては大自然の中で

子どもには大自然の中でのびのび育ててほしいと願って

いた夫妻は、「東京では保育に掛かる費用も大きく、保育所の利用も順番待ちです。東京にいたら、今でも次男は入所できていたかどうか」と、現在の安全で安心な環境に満足な様子。最後に秀志さんは、「仕事でお世話になっている親方をはじめ地域の人たちは、世代を超えた交流ができ、とても大事にしてもらっています。野菜などをいただいたり、家に招いてもらったり、そうしたコミュニケーションも魅力の一つです」と笑顔を見せていました。

1ターンやUターン で地域に活気が

私たちの地区では「平沢社交会」という壮年会を結成しています。若林さんは、地区の行事だけでなく社交会の消防訓練やレクリエーションなどにも、積極的に参加してくれます。地区には、一人暮らしの高齢者世帯が増え、農作業などを若手がカバーしたり、市外に出ている家族に戻ってくるよう呼び掛けたりしている現状です。そのような中で、若林さんのような存在はとても貴重ですね。集落や農業の将来のために、1ターンやUターンが増えてくれればと願っています。



平沢社交会 会長 中村英次さん

Uターンで家族に 安らぎと笑顔が



左から松沢修一さん(66歳・水落町)、慶子さん(63歳)、理恵さん(36歳)、貞峰さん(36歳)

さにもあらためて気付きました。都会では、こんなに新鮮な野菜などはなかなか食べられません」言っています。

市内から嫁いだ妻の理恵さんは、「実家の両親や幼なじみなどが近くにいるので、地元に残れたことで暮らして安らぎを感じています。将来子どもが生まれても、周りに助けてくれる人がいるので安心です。今では、同級生などと夫婦そろって交流を楽しんでいます」と話してくれました。

市全体でウェルカム

活動と忙しい毎日。資格取得に職業訓練センターを利用し、家の改装には市の助成制度を活用したそうです。今年4月からは市内で勤務しています。

大野の住環境は最高

大野の魅力について貞峰さんは、「一番違つのは住環境ですね。首都圏では、高い家賃を払っても狭い部屋しか借りることができません。戻ってきて自分の家を持つことができ、今ではとても快適に暮らしています。食事のおいし

松沢貞峰さんは、昨年6月に神奈川県川崎市から実家に戻り、現在は妻の理恵さんと両親との4人暮らしです。Uターンのきっかけについて貞峰さんは、「多いときには9人いた一家ですが、昨年の2月に祖父が亡くなり、祖母も高齢のため介護施設を利用しており、実家に帰ってみると両親しかいませんでした。とても寂しく感じ、自分が家に帰ることを決めました」と話してくれました。それまでの仕事を辞めて戻ってからは、結婚、家のリフォーム、就職

「三男の貞峰を含めて4人の息子がいますが、みんな市外県外に出てしまい、家の先行きが不安でした」という父親の修一さんは、貞峰さんが戻ってきたことをとても喜んでる様子。「近年の不景気で、息子の再就職が心配でした。雇用の拡大が大きな課題ではないでしょうか。市内は高齢化が進み、後継ぎに困っている高齢者も多いと思います。大野に戻ってこようという若い人に、市として家族としてどれだけ支援できるかが重要」と話してくれました。

都会にはない大野の住みよさ

全国住みよさランキング2013 住居水準充実度トップ10

順位	市名(都道府県名)	偏差値
1	珠洲(石川)	72.49
2	氷見(富山)	72.44
3	尾花沢(山形)	71.78
4	南砺(富山)	71.31
5	大野(福井)	71.12
6	村山(山形)	71.11
7	勝山(福井)	70.94
8	小矢部(富山)	70.75
9	郡上(岐阜)	70.37
10	輪島(石川)	69.90

株式会社東洋経済新報社まとめ

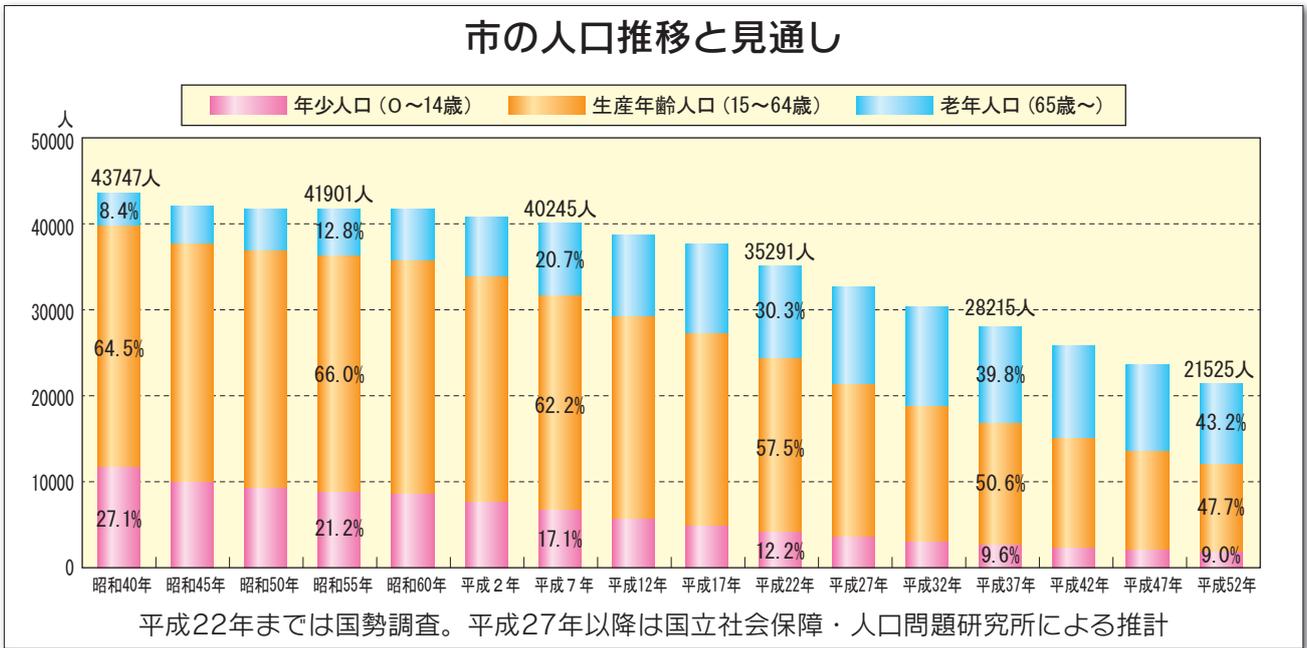
全国5位の優れた住居水準

「全国住みよさランキング2013」の住居水準充実度で、本市は5位に入っており、昨年からの順位を維持しています。算出指標は、住宅延べ床面積(2008年10月の総務省「住宅・土地統計調査」と持ち家世帯比率(2010年10月の総務省「国勢調査」)の2項目。平均値を50とした偏差値では、本市は71.12と非常に高い評価となっています。松沢さんが言う住環境の良さが証明されたといえます。

保育所入所待機児童数は0人

安心な子育てに関する指標の一つといえる保育所入所待機児童数では、本市を含めた福井県は0人を維持しています。厚生労働省によれば、平成24年10月時点で、東京都では7257人も児童が入所を待っています。若林さんが言うように、本市の保育環境は働く親にとって大きな助けとなっています。

加速する人口減少と少子高齢化の波



将来のまちづくり

定住促進は不可欠

市では、人口減少や少子高齢化が進み、地域コミュニティの維持が困難になるなどの課題が生まれています。一方、都市圏では、豊かな自然や地域文化と触れ合いながら、自分らしいライフスタイルや生きがいを求めて、田舎暮らしへの関心が高まっています。

チームで支える移住希望

定住人口を増やし、活力あるまちを実現するため、平成19年度から「越前おおの暮らし応援事業」を始めました。田舎暮らし希望者のニーズを情報収集したり定住支援の制度を整えたりしながら、都市圏居住者に向けて市の魅力を発信しています。

平成20年度からは、住宅や雇用、観光などの担当課が連携して、「越前おおのーじ」(移住サポートチーム)を設立し、移住相談の対応に当たっています。設立以来、サポートチームの支援により、本市には21世帯60人(平成25年3月末時点)

の累計件数が定住しました。情報発信と情報収集の強化で理想の暮らしを

4月からは、移住希望者への支援と移住者へのアフターフォローをさらに充実させるため、市内の民間団体「奥越前まんまるサイト」と連携して相談業務を行っています。大野暮らしの魅力や定住支援などの情報を発信するホームページを開発し、移住者を受け入れることができる集落の現地調査や移住者への聞き取り調査を行っています。

移住者の中には、事前の十分な情報収集や準備が不足し、移住前のイメージと移住後の生活との間にずれが生まれ、都市圏に戻る人もいます。地域の風習などに関する情報を把握し、移住希望者に提供する事で、理想とする田舎暮らしが

できるよう支援を行います。

温かいおもてなしの心で

定住施策には、移住者を受け入れる側の理解と協力も必要不可欠です。

市では、都市圏での宣伝活動や広告掲載、暮らし体験ツアーの企画などを通して、移住を呼び掛けています。今後も、多くの人が大野に行きたい、住みたいと思ってもらえる施策の検討や移住希望者が安心して相談できる受け入れ体制の構築に向けて積極的に取り組めます。

市民の皆さんも、市外にいる家族や知人への呼び掛けや、移住に際しての助言や手助けにご協力をお願いします。



行政戦略課ブランド推進室
定住促進担当 木下喜美子主事

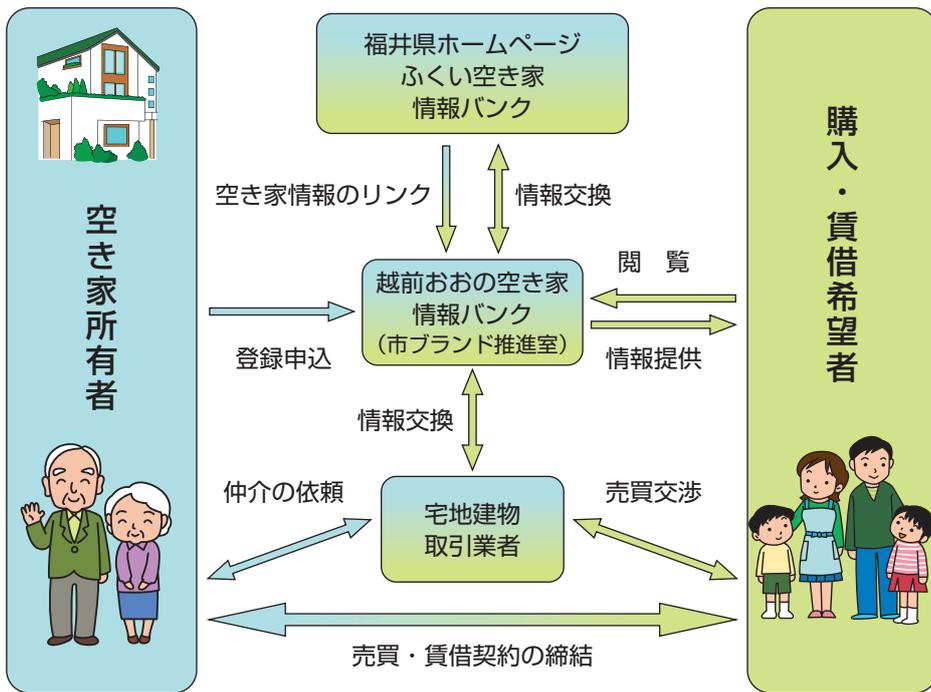
大野での暮らしを応援します

市では、移住を希望する人の新生活をバックアップするため、関係各課が連携して移住相談に対応しています。住宅、就業、子育てなど暮らしに必要な支援制度も取りそろえていますので、ぜひ活用してください。

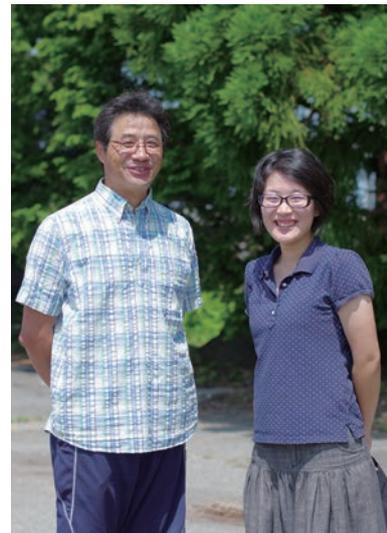
越前おおの空き家情報バンクの活用を

市内にある、売りたい・貸したい「空き家」を募集しています。空き家を有効活用し、定住促進を図ることを目的に、市内にある売却・賃貸が可能な物件情報を所有者から募集し、その情報を市内への移住を希望する人に提供しています。登録された物件は、市ホームページに掲載し情報公開します。平成24年度は、空き家情報バンクの登録物件のうち、2件の契約が成立しました。

図 行政戦略課ブランド推進室(☎66・1111内線435)



移住の不安を、まあるく解決



奥越前まんまるサイト
坂本 均さん(左)
渡辺佳奈さん(右)

奥越前まんまるサイトは、平成18年4月に設立された民間団体です。少子高齢化や若年人口の流出から生まれる、さまざまな問題の解決を目標の一つにしています。都市と農村の交流・定住・移住の促進にも取り組んでいて、4月から市の「JUサポートチーム」に加入し、移住希望者への支援に関わっています。

代表の坂本均さんは、「まずは大野に来て良さを知ってもらえるように、農家での宿泊体験なども行っています。見知らぬ土地に移り住み、問題に直面したとき、誰が助け

てくれるのかという不安はつきものです。私たちがその一助になれば」と語ってくれました。

定住促進を担当している渡辺佳奈さんは、今年の3月で1年間の「緑のふるさと協力隊」隊員としての市内滞在が終わりでしたが、阪谷地区の自然や人の良さに魅せられ、引き続き住むことを選びました。渡辺さんは、「私は新潟県出身ですが、大野を自分の故郷と想っています。私のような移住者の仲間をもっと増やし、交流の輪を作っていけたら」と、意気込みを語ってくれました。

移住をサポートする充実の支援制度

奨励金

結の故郷越前おおの 移住定住奨励金

平成25年4月1日以降に本市へ移住定住目的で転入し、継続して定住意思のある世帯に対して、奨励金20万円を交付します。奨励金は、申請年度に10万円、3年後に残り10万円を交付します。

☎ 行政戦略課ブランド推進室
(☎66・1111内線435)

住宅

越前おおの住宅取得応援事業

定住を目的として市内に家を購入した人に対して、住宅取得の費用の一部を補助します。取得した住宅の立地条件や施工業者などの諸条件により最大100万円を交付。平成22年4月1日に本市に住んでいなかった人、または申請時に40歳以下の人が対象です。

結の故郷越前おおの多世代世帯同居住宅支援事業

親・子・孫の3世代以上の世帯に対して、住宅の新築工事およびリフォーム工事の費用の一部を補助します。補助金額は、最大25万円です。3年後も補助対象者の要件を満たしている場合は、さらに同額の補助を受けることができます。着工前の申請が必要です。

☎ 建築営繕・庁舎整備課住宅管理係 (☎66・1111内線585)

「ふるさと納税」で“結の故郷 越前おおの”を元気にまちに

市では、市外在住の本市出身者などへ、ふるさと納税を積極的に呼び掛けています。市民の皆さんも、市外在住の知人へ、呼び掛けをお願いします。

●ふるさと納税とは

生まれ育った“ふるさと”を応援したい、“ふるさと”のために貢献したいという思いを実現する制度が、ふるさと納税です。ふるさとへの「寄付金」ともいえます。ふるさとの県や市町村に寄付した場合、住民税などが軽減される仕組みになっています。

●いろいろな手続きの利用を

寄付をする場合には、所定の寄付申出書に必要事項を記入して、郵便・ファクス・電子メールで申し込んでください。市ホームページにある電子申請システム「ふくe-ねっと」からも、インターネットを利用して申し込むことができます。ふるさと納税による応援を心からお待ちしています。

☎ 行政戦略課ブランド推進室
(☎66・1111内線435 FAX65・8371)
電子メール brand@city.fukui-ono.lg.jp
〒912-8666 (住所は書かなくても届きます)

就業

新規就農支援

専業で農業を始める45歳以上60歳未満の就農者に対して、就農初期の支援として月額15万円などを補助します。45歳未満の青年就農者には、年間150万円の就農給付金を交付します。

☎ 農業農村振興課農地係 (☎66・1111内線312)

商店街空地空家活性化対策事業

中心市街地の空地空家での店舗開設に必要な経費に補助金を交付します。店舗の改装または新築費、備品購入費が対象です。開業から24カ月間の家賃に対する補助もあります。

☎ 産業振興課商工労働係 (☎66・1111内線392)

結婚 子育て

越前おおのハッピーブライダル応援事業

市内で結婚式や結婚披露宴をしたカップルにその費用の一部を助成します。結婚後、市内に定住する意思のある人が対象です。補助金額は、市内業者を利用した経費の2割で、最大50万円。申請年度に補助金額の6割、3年経過後に残り4割を交付します。

☎ 福祉子ども課子ども家庭係 (☎66・6631内線143)

各種子育て支援

子ども医療費助成や一時預かり、放課後児童クラブ、子育てに関する相談などさまざまな支援でサポートします。

☎ 福祉子ども課・健康長寿課 (☎66・6631)
地域子育て支援センター (☎65・7188)

心ふれあうまちを目指して

第五次大野市総合計画

平成24年度の実施状況

第五次大野市総合計画

まちづくりの目標と方向を明らかにした、市の最上位計画です。基本構想を平成22年12月に、前期基本計画「越前おおの元気プラン」を平成23年2月に策定しました。

基本構想

市の将来像やまちづくりの目標を設定しており、期間は平成23年度から平成32年度までの10年間です。

前期基本計画

「越前おおの元気プラン」

基本構想に沿って必要な施策や主な事業を体系的に明示しており、期間は平成23年度から平成27年度までの5年間です。

※詳しくは、市ホームページに報告書全文を掲載しています。グループや団体で、市の担当者から直接説明を聞きたい場合は、「わく湧くお届け講座」をご利用ください。

事業の取り組み状況

前期基本計画の基本目標に沿って、平成24年度に実施した主な事業は、次のとおりです。金額は決算額です。

① 優しく賢くたくましい大野人が育つまち

ふるさと大野今昔物語事業	257万円
文化公演事業	714万円
国民体育大会運営基金積立	2000万円
越前おおの地域づくり交付金事業	1315万円
越前おおの元気創造事業補助	358万円
市民協働推進事業	67万円

③ 誰もが快適で暮らしやすいまち

橋梁補修事業	4340万円
自転車を活用したまちづくり事業	151万円
市内路線バス等運行事業	5139万円

④ 越前おおの魅力あふれる活力あるまち

越前おおのブランド戦略策定事業	482万円
越前おおのふるさと味物語補助	100万円
おいしい福井米づくり事業補助	5122万円
小規模作業道整備事業補助	5万円
九頭竜温泉「平成の湯」再整備事業	875万円
ふるさといずみ回帰支援事業	95万円



② 共に思いやり支え合う安全で安心なまち

運転免許自主返納支援事業	6万円
地域支え合い体制づくり事業	40万円
児童デイサービスセンター事業	2556万円
地域子育て支援センター事業	440万円
特定健康診査等事業費	3450万円
地域防災計画改訂準備調査事業	18万円
自主防災組織育成事業	370万円
防災行政無線整備事業	3億7836万円
(平成23年度～24年度の全体事業費 6億2853万円)	

⑤ 美しく豊かな自然環境を育み継承するまち

湧水再生研究調査事業	144万円
化石保存保全調査研究事業	524万円
華のジュータン形成事業	8300万円
生ごみリサイクル事業	58万円

基本構想実現に向けた行政運営

庁舎建設計画策定事業	3843万円
統合型GIS運用経費	153万円
公共施設再編方針策定事業	60万円

第五次大野市総合計画前期基本計画の2年目が経過し、取り組み状況と成果指標の達成状況がまとまりましたので、お知らせします。

行政戦略課行政戦略係
☎ 66・11111内線432

ひかりかがやき、たくましく、

将来の見通し人口とふれあい交流人口

人口(目標33000人)

平成32年の人口は、平成22年に比べて約4000人減少し、3万1650人になると予測されています。一方で、中部縦貫自動車道の一部供用開始や、国道158号、保健・医療・福祉サービス拠点施設など社会基盤の整備が進んでいます。これらのことから、若者と元気な高齢者の増加を見込み、目標人口を3万3000人としています。

実際の人口の推移は、平成22年が3万5291人、平成24年が3万4219人となりました。目標予測よりさらに人口減少が進んでいる状況です。

ふれあい交流人口(目標38000人)

人口に1日当たりの市外からの来訪者数を加えたふれあい交流人口は、観光客の大幅な増加を見込み、目標年間観光入り込み客数を200万人(1日当たり約5000人)に増やします。目標人口3万3000人に1日当たり約5000人を加えて、目標ふれあい交流人口を3万8000人としています。

ふれあい交流人口の推移は、平成22年で4万296人、平成24年で3万8418人となりました。観光入り込み客数の増加がふれあい交流人口の維持に貢献しています。

成果指標の達成状況

総合計画では85の成果指標を設定しています。このうち、平成24年度に目標を達成したものは23ありました。(昨年度の目標達成数は11)

ソフト事業だけでなく、市道改良率などハード事

業の達成もあり、国費や県費なども積極的に活用して取り組んできたことが成果として表れています。

成果指標の目標が達成されるよう、引き続き総合計画の積極的な推進に努めます。

平成24年度に達成した指標

- 郷土に関する学習の目標実施時間数を達成した学校 **全小中学校**
- 平成24年にスポーツ施設などを利用した延べ人数 **26万4040人**
- 平成24年に人権関係の啓発活動を実施した回数 **16回**
- 障害者相談支援センターに相談のあった件数 **3640件**
- 地域子育て支援センターを利用した延べ人数 **9285人**
- 市民アンケートで保健・医療・福祉サービス拠点施設「結とびあ」が「利用しやすい」と回答した人の割合 **69.1%**
- 普通救命講習を修了した人数 **1004人**
- 避難情報や国民保護情報などの一斉伝達範囲 **100%**
- 消費者相談センターに相談のあった件数 **155件**
- 越前おおのまるごと道の駅構想の策定 **ビジョン(構想)を策定済**

- 国道158号境寺・計石バイパスの事業化 **事業化(測量調査着手)**
- 市道の改良済み延長割合 **82.1%**
- 歩道のバリアフリー工事実施延長割合 **36.5%**
- 一人当たり公園面積 **13.8平方メートル**
- 高齢者などに対する賃貸住宅家賃助成件数 **49件**
- 降雪期前の雪下ろし作業登録者数 **145人**
- 越前おおのブランドの情報発信にかかわる人数 **457人**
- 「越前おおの里の恵み」認証の登録者数 **20人**
- 農道の舗装済み延長割合 **82.6%**
- 平成20年度以降に移住サポートチームの支援により、市外から大野市に定住した累積件数 **21件**
- 定住のための住宅取得に対する助成の累積件数 **87件**
- 11月の平均地下水位
御清水観測井 **1.08メートル**、春日公園観測井 **5.34メートル**、菖蒲池(浅井戸)観測井 **6.52メートル**
- 水質基準を達成した河川などの数 **11河川など**

ゆうゆう キャンペーン

抽選 1 回ごとの景品

- 1等** ホテルフレアール和泉
ペア宿泊券
1泊2食(飛騨牛の夕食)付き
.....1組2名
- 2等** ホテルフレアール和泉
ペア利用券
ミニ会席の昼食と入浴付き
.....1組2名
- 3等** 越前おおのまるごと魅力
カタログ(カタログギフト)
.....1名
- 4等** 協賛店で利用できる
買い物券1000円分
.....65名
- 5等** 循環バス・乗合タクシー
共通利用券1000円分
.....5名

協賛店での買い物や、まちなか循環バス・乗合タクシーを利用した60歳以上のの人に、スタンプを進呈し抽選(全4回)で景品を贈ります。この機会に外出し、市内での買い物を楽しみましょう。

対象者 60歳以上の市民

応募方法 応募券にスタンプを5個集めて、応募箱に投入するか郵送する

スタンプ

- ・協賛店で買い物すること
- ・1個進呈
- ・孫を連れて協賛店で買い物すること
- ・連れている孫の人数分だけ進呈
- ・まちなか循環バス、乗合タクシーを1回利用すること
- ・2個進呈

☎ 大野商工会議所 (066・1230)

応募期間 8月1日(金)〜平成26年1月31日(金)

抽選日 第1回9月10日(火)、第2回11月10日(火)、第3回1月10日(金)、第4回2月10日(日)

☎ 大野商工会議所 (066・1230)

応募箱設置場所 大野商工会議所、結とぴあ(有終会館)、図書館、シヨッピングモールVio、市観光協会、ホテルフレアール和泉

応募券 応募箱設置場所のほか、協賛店に設置

協賛店 大野商工会議所のホームページとチラシに記載(協賛店への追加加盟は、大野商工会議所に問い合わせる)

ご存じですか「大野会」

本市出身者が3つの大野会を作っています。それぞれが、総会や懇親会、ふるさと訪問ツアーなどの活動を行い、ふるさとの懐かしい思い出話に花を咲かせて会員の親交を深めています。各会では、会員を募集しています。本市出身の社会人・学生に紹介してください。

東京大野会

対象 関東在住の本市出身者
会費 年間1000円
活動内容 年1回の総会・懇親会、探索ウォークなど
申込先 事務局 高井雅之さん (048・971・6668)

関西大野会

対象 関西在住の本市出身者、本市にゆかりのある人
会費 年間2000円
活動内容 年1回の総会・懇親会、ふるさと訪問ツアーなど
申込先 事務局 森川利栄さん (090・8884・7945)

中京大野会

対象 中京在住の本市出身者、本市にゆかりのある人
会費 正会員年間3000円、準会員年間1000円(未成年、学生および家族、知人)
活動内容 年1回の総会、ふるさと訪問ツアーを含む年4回の懇親会、越前おおのブランドセールス支援作業など
申込先 事務局 久保 久さん (052・917・0221)

☎ 秘書課秘書係 (066・1111内線222)

姉妹都市などの団体と 友好交流しませんか

市では交流人口の拡大を図るため、姉妹都市市などとの交流を進めています。姉妹都市の茨城県古河市の囲碁・将棋・俳句・短歌を行う団体が本市の団体との交流を希望しています。交流を希望する団体は連絡してください。また、その他の活動で、姉妹都市(古河市)や友好交流市(愛知県岩倉市)などの団体との交流を希望する団体は、相談してください。市内の団体が行う交流事業に対して、助成金も交付しています。

☎ 秘書課秘書係 (066・1111内線222)



8月の第1土曜日には関東最大級の「古河花火大会」が盛大に開催されます

新庁舎の建設工事始まる

6月27日、市役所新庁舎の起工式が、建設地の市民グラウンドで行われました。工事の安全祈願に続き、国会議員をはじめ市議会議員や各地区区長会長などの来賓と工事関係者ら約50人が出席し、式典が執り行われました。

新庁舎は、鉄骨3階建てで延べ床面積7868平方メートル。1、2階部分は、南側の結とびあ（有終会館）と渡り廊下でつながります。よりよい市民サービスの提供や新しい防災拠点としての役割を担い、平成26年11月の完成を目指します。

☎ 建築営繕・庁舎整備課庁舎整備推進室（☎66・1111内線582）

大野市庁舎整備工事起工式



第8回大野市景観賞を募集

大野市景観賞は、優れた景観を作り出している建築物や工作物、景観づくりに貢献している団体などを表彰するものです。平成9年度から始まり、今回で8回目となります。皆さんからの応募をお待ちしています。

【募集内容】

◆建築部門
優れた景観を作り出している市内の建築物や工作物で、概ね5年以内に建築・改修され、次のいずれかの条件を満たすもの
・デザイン、色彩などが周辺環境に調和している

もの
・歴史的な景観に調和するもの
・自然環境の保全に寄与しているもの
・地区のシンボルとして、優れた景観を形成しているもの

◆活動部門
市内で景観の維持向上に努めている団体など
※具体的な例 ごみ拾いや清掃などの環境美化運動、景観づくりやまちなみ保全などのまちづくり活動など

【応募方法】

応募用紙に必要事項を記入し、カラー写真を添えて、建設整備課都市計画室に持参するか、郵送または電子メールで応募する。応募用紙は、建設整備課都市計画室で入手できるほか、ホームページからも入手可能。

【募集期間】

8月1日～9月10日

【審査・表彰】

応募されたものについては、市景観協議会で審査し表彰を行う

【その他】

応募写真は返却しない。市が広報紙などに使用することがある

☎ 建設整備課都市計画室

（☎66・1111内線333）

電子メール toshikei@city.

tuki-ono.lg.jp

T012-8666（住所

は書かなくても届きます）



第7回建築部門
宇野興太郎邸(元町・五番通り)



第7回活動部門
泉町一区(護美の家)

（おおの） 自転車レーンにONOデザイン

市独自の自転車路面表示(自転車ピクトグラム)デザイン公募を行なった結果、46作品の応募があり、その中からONO（おおの）をモチーフにした右の作品を最優秀賞に決定しました。最優秀賞の作品は、今後、市が整備する自転車の通行位置を示す路面表示に使用します。

☎ 建設整備課建設整備係（☎66・1111内線343）



ゲリラ豪雨などによる災害を想定

市総合防災訓練を実施します

市では、災害対策基本法と市地域防災計画に基づき、毎年実践的な総合防災訓練を実施しています。

大規模災害に備え、市民や自主防災組織、防災関係機関が協力して訓練を実施することで、迅速で的確な応急対策を身に付けます。

訓練を見学し、市民全体で防災意識を高めましょう。

日時・場所 9月1日(日)午前

8時～富田地区全域、9時～真名川憩いの島、11時終了予定(小雨決行)

主な訓練内容

- 自主防災組織
住民避難訓練、情報伝達訓練、避難所開設訓練、水防訓練など
- 市
災害対策本部設置と運営訓練、緊急物資搬送訓練、浸水建物排水訓練など



○市消防本部、消防団

住民避難広報訓練、水防訓練(土のう作り、各工法)、救出救助訓練など

○大野警察署

避難誘導訓練、防犯パトロール訓練など

○奥越土木事務所

情報伝達訓練、被害状況パトロール訓練など

○防災航空事務所

ヘリコプターによるつり上げ救助訓練など

○関係機関、団体(5団体)

炊き出し訓練、ボランティアセンター開設訓練など

○災害協定団体(4団体)

ライフライン復旧訓練、避難所開設訓練など

○体験コーナー

災害時伝言ダイヤル体験、防災資機材展示、濃煙体験など

○ 防災防犯課防犯係

☎66・1111内線462

成人式実行委員を募集

市では、平成26年1月12日(日)に開催予定の「平成26年成人式」に向け、企画・運営を行う実行委員を募集しています。

対象者 平成5年4月2日から平成6年4月1日生まれで、本市の成人式に出席予定の人

活動内容 成人式の企画と当日の運営。10月ごろから月2回程度の会議を開き、内容を企画

応募方法 郵送か電話、ファクス、電子メールで氏名、住所、生年月日、電話番号を連絡

締切 10月1日(日)(当日消印有効)

その他 委員になった人には、1回目の実行委員会(10月上旬に開催予定)前に詳細を通知

☎ 社会教育課青少年女性係(☎65・5590 FAX66・2885)
電子メール syakai@city.fukui-ono.lg.jp
〒912-0087 大野市城町9-1 学びの里「めいりん」内



文化会館で映画を見よう 第2弾

「遺体 明日への十日間」

文化会館では、近くで、安い料金で、良い作品を鑑賞できるよつ、映画上映会を開催しています。

今年度の第2弾は、映画「遺体 明日への十日間」です。2011年の東日本大震災で被災した岩手県釜石市の遺体

安置所を題材としたルポルタージュ「遺体―震災、津波の果てに―」を基に、メディアが伝え切れない被災地の真実を描き出したヒューマン・ドラマ。悲しみや立ち、絶望の中、1人の民生委員の行動が、周りの人々に勇気と思いやりの心を取り戻させます。震災から2年、どんな生の記憶が遠ざかる今、あらためてこの映画を鑑賞してみませんか。



〈出演 西田敏行、佐藤浩市、柳葉敏郎、勝地涼、緒形直人、沢村一樹 ほか〉

☎ 文化課文化係
66・5410

で販売中

シヨッピングモールVio

員会、図書館、各公民館、

チケット 文化会館、教育委

入場料 一般 1000円、

高校生以下 500円

午後7時

の部 午後1時30分、夜の

時間 朝の部 午前10時、昼

月日 9月16日 敬老の日

場所 文化会館 (全席自由)

第34回大野市美術展を開催

市美術展は、市のブランドキャッチコピー「結の故郷越前おおの」にちなんで、美術が人と人を結ぶ『人結美(ひとむすび)』をキーワードに開催します。会期も昨年までの3日間から5日間に延長されます。

日時 8月28日(金)～9月1日(日) 回午前9時～(28日・29日は午後5時まで、30日・31日は午後8時まで、最終日は午後4時まで)

場所 まちなか交流センター

部門 第1部門 洋画、第2部門 日本画、第3部門 彫刻・工芸、第4部門 書道、第5部門 写真

入場料 無料

その他 出品を希望する人は、8月24日(土)正午～午後5時に、まちなか交流センターへ作品を搬入。事前の申し込みは必要なし

☎ 文化課文化係 (66・5410)



平成24年度

市の財政状況

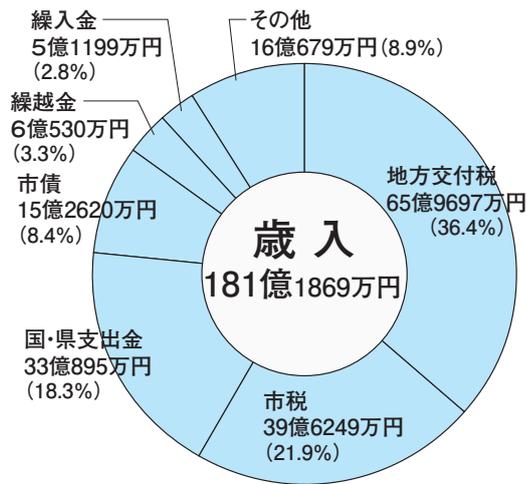
市では毎年、予算の執行状況や決算について公表し、皆さんが納めた税金などがどのように使われているのかをお知らせしています。今回は、平成24年度の決算の概要についてお伝えします。

問 財政課財政係（☎66・1111内線233）

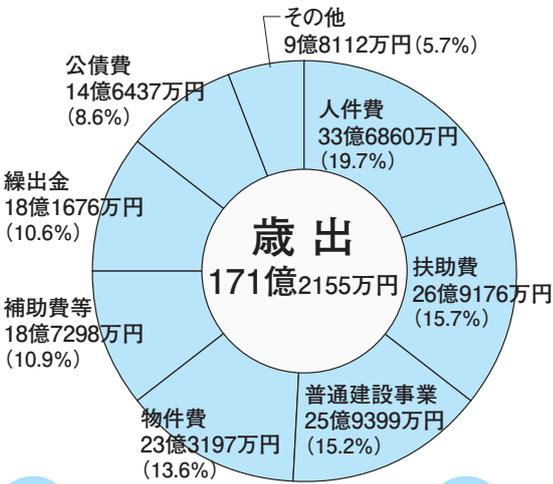
一般会計

歳入総額は181億1869万円で、前年度と比べ7.5%（14億6302万円）の減となりました。歳入のうち最も大きいのが地方交付税で、全体の36.4%。自主財源の中心である市税は39億6249万円で、全体の21.9%でした。

歳出総額は171億2155万円で、前年度と比べ9.8%（18億5487万円）の減となりました。



歳入から歳出を差し引いた9億9714万円は平成25年度に繰り越し



市税の内訳は

市民税	16億522万円
固定資産税	19億4304万円
軽自動車税	8802万円
たばこ税	1億9921万円
入湯税	696万円
都市計画税	1億2004万円

※市民税は法人税を含む

基金・市債・市税負担の状況は

	現在高 (市税は決算額)	市民一人 当たり
基金(貯金)	69億7115万円	19万3713円
市債(借金)	234億9754万円	65万2945円
市税負担	39億6249万円	11万109円

※平成25年3月末現在の人口(3万5987人)で計算

市民1人当たりに換算して

いくら使われた？

47万5770円

何に使われた？

民生費 13万250円

(子育て支援や福祉の充実など)

総務費 6万7693円

(地域づくりや防災、管理運営経費など)

土木費 5万6428円

(道路・公園の整備、除雪経費など)

衛生費 4万6155円

(医療・保健の充実、ごみ対策など)

教育費 4万1701円

(教育・文化・スポーツの充実など)

公債費 4万696円

(市が借りたお金の返済など)

農林水産業費 3万6106円

(農業・林業の活性化など)

商工費 2万5252円

(商工業や観光の振興など)

消防費 1万7014円

(消防、救急救命など)

その他 1万4475円

(市議会の運営、労働者の福祉、災害復旧など)

※平成25年3月末現在の人口
(3万5987人)で計算

特別会計

特定の事業を行うため、一般会計と区別し、その特殊性を明らかにするために設けられている会計です。

事業	予算現額	歳入	歳出
国民健康保険	42億2506万円	42億9239万円	40億7304万円
和泉診療所	8942万円	8638万円	8638万円
後期高齢者医療	3億7682万円	3億7305万円	3億7214万円
介護保険	36億4968万円	35億8006万円	35億1778万円
簡易水道	1498万円	1482万円	1473万円
農業集落排水	1億4723万円	1億4566万円	1億2263万円
下水道	3億3057万円	3億2566万円	3億581万円

企業会計

民間企業のように、事業で得た収入で支出を賅っています。

水道事業

区分	金額	
収益的収支 (事業運営と 施設管理)	収入	1億4145万円
	支出	1億3876万円
資本的収支 (施設整備など)	収入	5411万円
	支出	9846万円

※資本的収支の収入に対する支出の不足分は留保資金等で補てん

大野の未来をつくり守る人材、求む

平成26年4月採用職員募集(後期日程)

採用予定人員

- 事務職 2人程度(うち身体障害者対象1人程度)
- 消防職 1人程度

試験日時・会場

【一次】9月22日(日)午前9時～午後3時(消防職は午後5時)・結とびあ(有終会館)、消防本部

【二次】11月2日(日)(詳細は一次試験合格者に通知)

試験内容

【一次】▶事務職 事務適性検査▶消防職 基礎運動機能検査▶共通 教養試験(高校卒業程度の問題、卒業資格不要)、作文試験、パーソナリティー診断

【二次】口述試験

受験資格

- 事務職 昭和58年4月2日から平成8年4月1日までの間に生まれた人(前期日程申込者は受験できない)

※身体障害者対象の区分の受験希望者は、さらに次の全ての要件が必要▶身体障害者福祉法第15条に定める手帳の交付を受けている▶活字印刷文による出題に対応できる▶介助者無しで受験や通勤、職務遂行ができる

- 消防職 日本国籍を持つ昭和63年4月2日から平成8年4月1日までの間に生まれた人で、身体要件を満たす人

申込受付 8月1日(日)～26日(日)(当日消印有効)

申込方法 申込書に必要事項を明記し、写真を貼付して持参か書留郵便で送付

※書留郵便による申し込みは、締切日3日前からは速達書留で送付

申込書の請求方法 直接または郵便で請求。郵便の場合は、封筒の表に「一般職(事務・後期日程)試験申込書請求」または「消防職試験申込書請求」の請求区分を朱書きし、送付先の郵便番号、住所、氏名、電話番号を明記した紙と120円分の切手を添えて請求。申込書は市ホームページからも入手可

その他 申込書と同時に交付する「試験要項」で、必ず詳細を確認すること

問い合わせと申込先

事務職 総務課職員係 (☎66・1111内線241)
〒912-8666 (住所は書かなくても届きます)

消防職 消防本部総務課 (☎66・0119)
〒912-0084 大野市天神町7-14